

## 平成26年度 学校経営にあたって

### I はじめに

本校は、57年間にわたり営々として築かれてきた伝統、教職員の日々の創意と努力、保護者や地域の支えにより、多くの生徒を育ててきた。地域の中に生きる学校として充実、発展し、望ましい校風が培われてきた。生徒は主体的に学校行事に取り組みととも生き生きとしている。様々な教育活動の中で、生徒一人一人の個性や能力を生かし、発揮させる場面をつくることで、生徒の心に充実感・達成感を味わわせている。そのことで、生徒の多くは自尊感情をもち、思いやりの心が育ち、学校を誇りに思っていることが本校の大きな特色である。

変化の激しいこれからの社会を生きるために必要な知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」の育成に向け、より効果的な教育活動の実現に学校全体で取り組んでいくことがポイントである。特に豊かな心を育てるために、豊かな言語環境と充実した体験活動が必要である。また、生徒に「わかった」「できた」と基礎的・基本的な学習内容を確実に身に付けさせ、考えさせる授業を展開することで、生徒に学習に対する達成感をもたせ、生徒の学習意欲を高める。このことを生徒・保護者に見える形で工夫しながら示していく必要がある。さらに学校として本校の強みを生かし、一層質の高い教育を提供していくために、私たち教職員が一丸となって、「**人とのかかわり**」を通して、**生徒が、保護者が、教職員が、多くのことを互いに学び合い、生かしかい、学校と家庭・地域が共に育つ学校**をつくる。

そして、日々の学校経営や教育活動において誠実かつ意欲的に業務にあたり、いじめの問題等への指導の徹底、安全教育の推進、小中一貫教育の充実を図り、生徒・保護者・地域から信頼される学校を築き上げる。体罰をはじめサービス事故（犯罪）防止に向けて教職員一人一人が自覚することが大切である。

### II 教育理念「環境は人を変える」

子どもたちはよい環境に置くと、子どもの良い部分が伸びる。それは、子どもたちがお互いに協力し、切磋琢磨して成長していき、子ども一人一人が伸び伸びと安心して自分の良さを発揮できるからである。

- **教職員の指導力**とその人間的な**魅力**
- 子どもたちの学習意欲や生活習慣など、**子ども自身の力**
- 家庭、地域の支援や協力体制など、**学校を支える地域の教育力**
- 教室、廊下等の美化・整備や掲示物の工夫など、**教育環境の整備**

そして、生徒・保護者・地域の期待に応え、信頼される学校とは、

- 学校が安全に配慮し、子供を安心して通わせることができる。
- 生活指導がきめ細やかで、それが徹底されている。
- 教職員の風通しが良く、情報の共有化が図られ、チームワークがとれている。
- 学校が家庭・地域と情報の共有化を図り、連携がとれ、学校のよき伝統を生かし、学校をより良くしていこうという前向きな姿勢が家庭、地域に伝わっている。

そして生徒は、多くの人とのかかわりの中で、地域を愛し、夢や希望をもつ。そして、学ぶことや働くことへの意義や楽しさを理解し、自ら学ぶ意欲が育ち、考えることができるようになる。さらに、教職員が一人一人の生徒に愛情を注ぐことで、学校は家庭や地域から信頼され、感謝と協力を生む。生徒は学校を愛し、教職員の指導に信頼を寄せる。

教育目標の達成に向けて、日々の実践を大切にし、その反省と評価を基に、教育活動を推進し、そこで、次のように（目指す学校像）をとらえました

1. 生徒が生き生きと活躍する学校
2. 保護者が学校を信頼し、生徒を安心して通わすことができる学校
3. 教職員が互いに立場を尊重し、磨き合い活気あふれる学校
4. 地域に愛され、根をはった学校

### 3. 経営の基本方針

- 1 清潔で落ち着いた雰囲気の中で、生徒にけじめのある生活ができるようにする  
生徒の心的成長と学校の安定化を促す一貫性のある生活指導の方針と態度で指導にあたる。特に気持ちのよい挨拶や正しい言葉遣いができるよう、全教職員が率先垂範し、言語環境を整える。
- 2 いじめ問題対策方針や学校いじめ防止基本方針に基づいて、組織的にいじめ問題への早期発見・早期対応を図るとともに、いじめを未然に防止するために、互いに支え合い、いじめが起こりにくい集団づくりにあたる。  
いじめ状況聞き取り調査を定期的実施するなど、絶えず状況を把握し、組織で正しい情報の共有化を図り、指導にあたる。授業をはじめ学校行事や部活動など子どもに主体的に活動させ、活躍の場を与え、相互に支え合い高め合う集団を形成する。生徒に所属感をもたせ、自尊感情を高めることで、いじめが起こりにくい土壌をつくる
- 3 教科の専門性を生かし授業力を高め、生徒に「確かな学力」を着実に育む授業づくりをする  
授業改善推進プランに基づき、学校全体として内容、指導方法について共通理解を図り、研究授業を通して教師の授業力を高める。授業で、「学習の見通し」を生徒にしっかり示し、生徒に教えるべきところはしっかり教え、生徒の興味・関心を生かして生徒に主体的に考えさせ、生徒一人一人の学習への取り組みを充実させることで、生徒に分かる授業を行う。そして、年度末に生徒に教科ごとの授業アンケートをとり、分析し指導に生かす。また、家庭学習が習慣付くよう、指導する。より一層、指導と評価の一体化を図り、評価規準の精度を高め、生徒及び保護者への説明責任を果たす。
- 4 道徳教育をより一層推進する  
自他の生命を尊重する心や規範意識をはぐくむ指導を推進する。道徳教育推進教師が中心となり、人権課題を取り上げながら、全教師が協力して道徳の時間における指導方法を工夫し計画的に実施する。道徳授業地区公開講座を活用して、家庭や地域と意見交換することで、相互の思いや願いを理解し合い開かれた道徳教育・心の教育を推進する
- 5 教育予算を効果的に計画し、適切に執行する  
特色ある教育活動の予算を有効に使い、多様な体験学習や地域の教育力を活用を図る
- 6 学習環境の整備と美化に努め、安全・安心な環境にする  
学校用務の実務担当者との連絡調整を円滑にして、特に教室の清掃をはじめ廊下・階段など学校施設・設備の日常的な点検と補修、整備に意を注ぎ、良好な状態にする。
- 7 安全教育をより一層推進する  
「不審者対応の手引き」および「地震対策の手引き」を活用し、分担を明確にし校内体制を構築する。避難拠点運営連絡会の協力を得ながら、総合的な学習の時間に生徒自身に防災意識や防災行動について気付かせ、災害に備える意識を高める。また、生徒、保護者、地域に学校の対応について周知徹底を図り、保護者には引き渡し方法や緊急一斉メール等の連絡訓練を通して保護者との連携を一層図る
- 8 教育相談を充実させるとともに、特別支援教育への対応を図る  
日頃から担任を中心として生徒・保護者から安心して相談できる関係を築き、相談には組織的に丁寧かつ迅速に対応する。登校支援シート等を活用し、記録を細かく取るとともに、特別支援教育コーディネーターを中心とした校内支援委員会を定期的に関き、正確に情報の共有化を図る。組織的に対応しながら関係諸機関と連携を図る
- 9 教職員個々が専門性を生かして経営の参画にあたり、当事者意識をもち自覚して職務を遂行し、迅速に対応する。仕事を通して人間関係をつくり組織の活性化を図り、チームを大切にする学校運営を推進する。「3つのワーク」を大事にしながら推進する。特に、役割を明確にし、OJTを効果的に実践し、若手の育成を図る。
  - ① ネットワーク（報告・連絡・相談・確認をしながら、情報を共有化する。）
  - ② チームワーク（何事も助け合い、協力する。）
  - ③ フットワーク（即時、適切な対応をする。）
- 10 実践志向の積極的な学校文化をつくり、教育課題に対応する  
学校評価と関連させて、保護者や生徒による教育活動に関するアンケートと各教科の授業アンケートを分析し、結果と改善を示すことで、保護者・地域への説明責任を果たす。学校をより良くしていこうという前向きな姿勢で、アイデアが生み出される雰囲気を大事にする

- 1 1 9年間を見通した教育を推進するために、小中学校の連携・協力を図った学校づくりにあたる  
学校公開日や保護者会、学校行事等に保護者、関係小保護者及び地域に呼びかけ、小学校の児童  
や  
保護者をより多く参加できるよう工夫し、本校の良さをわかりやすく示し、学校と家庭、学校と地  
域との信頼関係を積極的に深める。また、大泉南小・大二小と2回の校区别協議会を生かしながら、  
小中学校の教科の連携や互いの学力観や指導観、児童生徒観について理解を深め9年間を見通した  
学習指導・生活指導等の充実を図る。
- 1 2 生徒の可能性を引き出し、信頼関係に基づいた生活指導を進める  
体罰は暴力行為であり、暴言や不適切な言動も含めて人権を侵害する行為である。生徒理解を基盤  
として、教員が一人で問題を抱え込むことがないように、学年・学校全体で正しい情報の共有化を図  
り、家庭と連携を図りながら生徒一人一人に応じて、きびしさの中にも温かさのある毅然とした丁寧  
な指導を行う

#### 4 学校運営にあたって

##### 「信頼と協力を基盤にした魅力ある学校づくりの推進」

- (1) 教えるべきことはしっかり教え、生徒に分かりやすく考えさせる授業を展開し、家庭学習の定着とも関連させて、生徒の基礎学力の定着と伸長を図る（学習指導の充実・家庭学習の定着）
- (2) 心身の健康の増進と人権や生命を大切にする教育を一層推進する（体力の向上と道徳授業の充実と豊かな心の育成）
- (3) 災害に備える意識を高め、安全・安心についての教育を推進し、信頼され開かれた学校づくりを推進する（安全教育の推進・家庭、地域との信頼関係の構築）
- (4) 不登校生徒の支援を充実し、特別支援教育を推進する（特別支援教育への対応）
- (5) 小学校との教科の連携や交流を図り、互いの学力観や指導観、児童生徒観について理解を深める（小中一貫教育の推進）

#### 5 実践に向けて重点目標と方策

項目	中期的目標と方策	今年度の重点目標と方策
特色ある教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体験的な学習や総合的な学習の時間など地域の<b>人とかかわる体験を通じ、生き方指導の充実</b>を図る。</li> <li>○<b>読書活動を推進</b>し、言語環境を整え、言語活動の充実を図る。</li> <li>◎小学校や石神井特別支援学校との連携や交流を図り、互いの学力観や指導観、児童生徒観について理解を深め9年間を見通した学習指導・生活指導等の充実を図る。</li> <li>◎学校行事と部活動には生徒を積極的に参加させ、個性を伸ばし、自信をもたせ、集団への所属感や責任感を育てる。</li> <li>◎学習指導要領の趣旨の実現に努め、生徒の基礎学力をつける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育活動に地域の人材を活用し、多様で柔軟な授業を展開し、生徒を地域社会とふれ合わせ、相互理解を深める。</li> <li>○朝の読書活動を行い、学校図書館の活用を図り、調べ学習や読書を奨励して、言語に関する能力を高める。（課題作文・税の作文）</li> <li>◎小学校と校区别協議会や授業等を通して、教職員が、互いの学力観や指導観、児童生徒観について意見交換し理解を深める。また、PTAも関わり石神井特別支援学校と生徒同士の共同及び交流を図る。</li> <li>◎教職員全員で指導にあたり、生徒の心身を鍛錬し、意欲を喚起させる。生徒の多様な個性を生かし自立性を伸ばすとともに、集団として協調の精神を育てる。</li> <li>◎各教科・領域の指導計画・評価計画を検証し、指導と評価の一体化を図り、計画的に教育活動を進める。</li> </ul>
学習指導 （教科指導）	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎各教科で授業のねらいを明確にし、「わかる授業」を工夫し、個に応じた指導の充実を図りながら、基礎・基本の徹底と学ぶ意欲を高め、<b>学力の定着・伸長</b>を図る。</li> <li>◎<b>家庭における学習習慣を確立</b>するための指導を工夫し、保護者の理解と支援を要請する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎授業において、黒板に「本時の目標・ねらい」を明確に示し生徒に見通しをもたせ、教えるべきことは教え、考えさせることは考えさせ、教材など指導法を工夫・改善し、習熟の程度や興味・関心に応じた指導を実践する。</li> <li>◎言語活動の充実を図り、思考力・判断力・表現力を発揮できる授業を展開する。課題解決的な学習を各教科の年間指導計画に位置づけ、実践・検証を行う。</li> <li>◎学習のきまりを生徒に明確に明示し、授業規律の維持にあたり、安全を確保する態度を身に付けさせる。</li> <li>○学習補充教室等、学習の機会を充実させ、基礎・基本の徹底を図り、学力の定着を一層図る。</li> <li>○週案に週の指導計画を立て、指導に活かされるように内容を記録し、提出する。</li> <li>○学力調査の結果を分析し、授業改善推進プランに明記し、授業改善にあたる。</li> <li>◎学習指導要領を踏まえ、学習の過程を大切にした指導の改善に生かす評価を行うとともに、評価資料を基に適切な評価・評定を行い、保護者にきちんと説明できるようにする。</li> <li>◎生徒や保護者に家庭学習の手引きを示し、学び方を教え、授業と関連した宿題等を出し、家庭学習を習慣付ける。</li> <li>○生徒や保護者にわかりやすく学習の状況を示し、面談で学習課題を明確にし、解決を図る。</li> <li>◎道徳の時間を確保し、道徳教育推進教師を中心に、</li> </ul>
（道徳）	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎豊かな体験を通して<b>生徒の内面に</b></li> </ul>	

<p>〈総合的な学習の時間〉</p>	<p><b>根ざした道徳性</b>を育成する。</p> <p>○体験的な学習活動を通して、<b>社会性やコミュニケーション能力を育成</b>し、学び方やものの考え方を身に付けさせる。</p>	<p>全体指導計画及び年間指導計画に基づいて、人間として生きる喜びを見出し、人権課題を取り上げ、道徳指導を展開し、計画的に実践する。</p> <p>○人とかかわりを学び、自己の生き方を考えさせ、社会性やコミュニケーション能力を育成する。 (卒業生のお話を聞く会・防災教育教室・生き方講演会等)</p>
<p>生活指導</p>	<p>◎<b>時間を守らせ、挨拶をしっかりと行わせる</b>など、基本的な生活習慣の確立を図り、<b>生徒の規範意識と社会性</b>を高める。</p> <p>○<b>教育相談を充実</b>させ、「いじめ・不登校」の早期発見・早期対応を図り、家庭との連携を強化し、信頼関係を構築するとともに、関係諸機関と連携を図る。</p>	<p>◎あらゆる場面で教師が率先垂範し、生徒にしっかりと行わせる。教師と生徒、生徒同士の信頼関係を基盤におき、生徒理解に基づいて、情報を収集し、時機を逸せず毅然とした対応ときめ細かな指導を行う。</p> <p>◎登校支援シートを活用しながら生徒一人一人の実態を的確に把握し校内体制を充実させ、関係諸機関と連携し、いじめ・不登校等にきめ細かく組織的・効果的に対応する。</p> <p>◎いじめ一掃取組月間に、実態調査を実施し、いじめを絶対許さない学校づくりを推進する。</p>
<p>進路指導</p>	<p>○<b>生徒に自己理解を深め</b>させ、体験活動を充実し望ましい職業観をはぐくむ<b>キャリア教育を推進</b>する。</p> <p>○生徒に卒業後の進路を主体的に選択させ、将来の生活において自己実現を図ろうとする態度を育てる。</p>	<p>◎他者の個性を尊重し自己の個性を發揮しながら職場体験等、人とかかわり望ましい勤労観や職業観を身に付けさせ、生き方指導の充実を図る。</p> <p>○3年間を見通した進路指導計画を立案し、組織的・計画的に実施する。(進路便りの発行等)</p>
<p>学校運営</p>	<p>◎教職員一人一人が使命と職責を深く自覚し、サービスの厳正に務める。</p> <p>◎組織的に職務を遂行するために、OJTを効果的に実践する。</p> <p>○学年間・分掌間の連携を密にし、<b>学校全体の組織力を強化</b>する。</p> <p>◎特別支援教育の推進を図る。</p> <p>○学校評価・<b>学校関係者評価</b>を分析し、適切な学校評価を行う。</p> <p>◎環境美化に努め、安全で落ち着いた<b>学習環境を整備</b>する</p> <p>◎「不審者対応の手引き」および「地震対策の手引き」を活用し、学校の具体的な対応について生徒、保護者、地域に伝え、安全教育をより一層推進する</p>	<p>◎資料を活用しながら研修を実施し倫理観の醸成を図る。日常的に教職員の人間関係に留意し、メンタルに配慮する。気になる言動への指導・対応を図り、サービス規律を確保する。</p> <p>○主幹・主任教諭を中心に役割を明確にし、連携しながら若手教員の育成に積極的にあたる。</p> <p>○主幹や主任および分掌間の各教員の役割を明確にし、企画委員会を通して、学年間・分掌間で課題を明確にし解決に向けて協働的な取り組みを行う。</p> <p>◎学校生活支援員の活用を図るとともに、通級学級等と連携し、生徒理解を深める。</p> <p>○学校評議員会の機能を図り、学校関係者評価を分析して、課題の明確化と具体的に改善策を示すことで、保護者・地域への説明責任を果たす。</p> <p>◎教室や廊下など汚れは、すぐに清掃するなど日常の清掃活動を充実させ、掲示物にも注意を払い、隅々まで細かく気を配り、教育環境を整える。定期的に施設点検を実施し、改修等必要がある箇所は迅速に対応する</p> <p>◎様々な訓練を通して、生徒自身に防災意識や防災行動について気付かせ、災害に備える意識を高める訓練や緊急一斉メールなど家庭との連絡方法について周知徹底を図る。「不審者対応の手引き」を活用し、生徒と教職員の命を守る。</p>
<p>特別活動</p>	<p>○学校行事を通して、一人一人の生徒を主体的に活動させる。豊かな感性や創造力をはぐくむ。</p>	<p>○文化的・体育的行事の実行委員会を中心に、ねらいを明確にしあり方を見直すとともに、生徒を主体的に運営に参加させ、充実感と達成感を与える。</p>
<p>研究・研修</p>	<p>◎授業力の向上を目指し、授業研究を推進する。</p> <p>◎生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援を行う</p> <p>○生徒理解に関する研修を充実させる</p>	<p>◎学習指導要領の具体化を図るために、一斉に教科ごとの研究授業・協議会をもち、互いに日々の実践の成果を共有化し、指導に活かす。</p> <p>○区中研の研修等に積極的に参加し、指導法の工夫・改善を図り、日々の実践に活かす。</p> <p>○校内研修のテーマは、生徒の実態を踏まえ、教育課題を見据えて、自己研鑽が高まる授業研究・事例研究・講演を設定する。</p> <p>◎特別支援教育の推進を図る研修会やSSTや事例の研修会を実施し、生徒理解を深める。</p>

## 5. 私たちの姿勢

### (1) 仕事は楽しく(働きがいがある)

- ①職場の仲間を大切にしましょう。
- ②常に自分自身も夢や希望を失わず仕事をしましょう。
- ③相手の立場や気持ちを考え、自分の意見をはっきり言いましょう。
- ④人はみんな違います。互いの良さを認め合い、組織を生かして協働して集団で教育に当りましょう。

### (2) 変化に対応し、成長する教師(向上を願い資質を高める)

- ①多様な人とのかかわりを大切にし、時代や社会の変化やニーズに敏感になりましょう。
- ②「シンプルでねらいが明確な教育課程の編成・実施に努めましょう。従来通りは後退。流れない水は濁る。まずはやってみることを大切にしましょう。動くとも何かが見えてきます。失敗したらすぐに退散する勇気を持ちましょう。
- ③「迷ったときには、前へ進め」止まって後悔するより、失敗して成長しましょう。
- ④「攻撃は最大の防御」学校は守りに弱い、汗をかくて動くことが活力を生み、信頼が増します。

### (3) 私たちは教えるプロである(指導力を上げる)

- ①子どもに夢をもたせ、よさを見つけ、可能性を伸ばすことに努めましょう。
- ②「全ての基本は授業です」学力を付けることは最大の使命です。教育課程の編成・実施に努めましょう。従来通りは後退。流れない水は濁る。まずはやってみることを大切にしましょう。動くとも何かが見えてきます。失敗したらすぐに退散する勇気を持ちましょう。
- ③子どもにとって将来必要な不易の力(知・徳・体)をしっかりとつけましょう。
- ④「自分の得意分野を磨く」専門分野への研修活動には積極的に参加しましょう。
- ⑤挨拶、社会のルール、規範意識は、毅然たる姿勢でしっかり身に付けさせましょう。子どもた

ちは、しっかり大人の言動を見えています。私たち大人の言動が子ども的人格形成に大きな影響を与えます。私たちの仕事は子どもたちを社会に送り出すことにあります。子どもたちに社会人としてお手本を示していきましょう。

- ⑥「子どもの変化に敏感に」小さなことも見逃さず、先手を打って対応しましょう。日頃から生徒一人一人をしっかり見とり、声をかけ、心のキャッチボールをしておきましょう。

#### (4) 地域・保護者から信頼される教師（自らの襟を正す）

- ①保護者や地域の方々からアイデアを引き出し、家庭や地域の教育力を積極的に活用しましょう。
- ②開かれた学校づくりに努め、説明責任と結果責任を常に心がけましょう。
- ③決断しなければならないときは、「生徒・保護者にとってよい」が判断基準になります。
- ④体罰・セクシャルハラスメント等のサービスの厳正に努め、尊敬され信頼を得る教職員を目指しましょう。

#### 6. 私の決意「全て子どもたちの成長のために」

- ①学校教育の進むべき方向を考え、創造的に改善し、発信できる学校を目指します。
- ②誠実、謙虚の気持ちを常に忘れず、教職員、保護者、生徒、地域の方々の意見や提案に耳を傾け、期待に応える学校を目指します。
- ③仕事はできるだけ分担・協力させ、組織を生かすようサポートします。
- ④生徒のためになる新たな提案や企画はできる限り臨機応変に取り上げ、実現に努め、責任は校長が取ります。
- ⑤できる限り校内を巡視し、安全確認、生徒・教職員の状況・様子の実態把握に努め、改善点は素早く対応します。
- ⑥地域や家庭にはできる限り足を運び、教職員・生徒たちの活躍や成果を伝えます。
- ⑦相手の立場や心を大切にする礼節は大事にします。